

科学者委員会広報分科会（第22期第26回）議事要旨

1. 日 時 平成26年4月11日（金）16:00～17:00
2. 場 所 日本学術会議 特別室 2階
3. 出席者 辻村みよ子委員長、北里洋副委員長、小森田秋夫幹事、
那須民江幹事、吉川泰弘委員、萩原一郎委員、渡辺美代子委員
日本学術会議事務局企画課：高橋、伊藤
日本学術協力財団：末次

【配布資料】

- | | |
|--------|----------------------------|
| 資料1 | 第26回科学者委員会広報分科会出席者一覧 |
| 資料2-1 | 第24回科学者委員会広報分科会議事要旨公開版 |
| 資料2-2 | 第24回科学者委員会広報分科会議事要旨詳細版（案） |
| 資料2-3 | 第25回科学者委員会広報分科会議事要旨（案） |
| 資料3-1 | 1Fラウンジにおける展示パネルの入れ替え |
| 資料3-2 | 1Fラウンジにおける展示パネル配置図 |
| 資料3-3 | 1Fラウンジにおける展示パネル一覧 |
| 資料4 | 『学術の動向』平成26年4月号以降の掲載予定記事一覧 |
| 資料5 | 現在寄せられている『学術の動向』特集記事等の企画案等 |
| 資料5-1～ | 各企画案 |
| 資料6 | 第21-22期『学術の動向』会員執筆状況 |

【参 考】

- 参考1 日本学術会議関連イベントスケジュール

議 事

- (1) 第24回及び第25回科学者委員会広報分科会議事要旨（案）について
 - ・原案のとおり了承された。
 - (2) 日本学術会議の広報活動について
 - ・1Fラウンジの広報パネルの更新について報告された。
 - (3) 『学術の動向』について
『学術の動向』への編集協力について
<特集>
 - ・平成26年9月号までの特集テーマについて以下のようなテーマで掲載することとした。（7月号及び8月号は小特集3つを掲載する変則的な編成とした。）
- (5月号)
- ・特集1：『大学における教養教育とジェンダー—今何を問うべきか?—』
 - ・特集2：『生活習慣病予防、重症化予防の推進のための健診・保健指導の在り方』

(6月号)

- ・特集1：『マスタープラン 2014～22 期日本学術会議の大型研究計画～』
- ・特集2：『3.11 後の科学と社会～福島から考える～』

(7月号)

- ・特集1：『社会が受け入れられるリスクとは何か』
- ・特集2：『復興農学-東日本大震災からの復興への貢献と課題』
- ・特集3：『中等教育で学ぶ「人種」「民族」ヒトの多様性』

(8月号)

- ・特集1：『JAPAN PRIZE 受賞』
- ・特集2：『学協会の新公益法人法への対応の現状と展望』
- ・特集3：『地域研究の『粹』を味わう-現地から中央アジア、オセアニア、EU、東南アジアを読む-』

(9月号)

- ・特集1：『地殻災害の軽減と学術・教育』
- ・特集2：『実践を変革する高度実践看護師の発展をめざして』

<表紙>

- ・5月号のアイデア（ポスターの絵）について再考を求めることとした。
- ・6月号の表紙については、特集1の企画提出者に対して督促することとした。

<編集後記担当>

- ・平成26年9月号までの担当委員を決定した。

<その他>

- ・これまでも報告されていた第22期までの会員のうち、一度も『学術の動向』に執筆をしたことのない会員については、第二部及び第三部に絞って広報分科会委員から寄稿を依頼することとした。

(4) その他

- ・竹縄委員の定年退職（5月24日付）に伴い、委員が欠員となるため、科学者委員会に対し広報分科会委員1名の補充を依頼することとした。
- ・次回は次期（23期）への引き継ぎについても議論されることを確認した。
- ・次回の広報分科会の開催日は、臨時総会の7月11日（金）の総会終了後に開催することとしたが、総会日程が固まっていないので、確定後に決定することとした。

以上